

タイ王国

自動洗浄機能付搾乳システム及び
生乳冷却機による生乳の品質向上に関する
普及・実証事業

期間：2017.10 - 2019.10

オリオン機械株式会社

1. 目的

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

ORION
冷熱と真空でイノベーション

自動洗浄機能付搾乳システム及び生乳冷却機による生乳の品質向上に関する普及・実証事業



1 タイが望む“高品質な生乳”に対し、当社製品の導入と技術移転によって、乳質、搾乳技術、生産性の向上及び酪農業の効率化が図れることを実証する

2 事業の成果をもとに、タイ及び周辺ASEAN諸国へ当社の酪農事業拡大及び製品の普及を図る



2017年9月、ASEAN+3(於チェンマイ)農業大臣会合に掲示した本事業紹介パネル

2. 活動内容

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために



実証 活動

1

モデル牧場を3か所に機材を導入

2

機材導入前後で乳質改善効果を実証

3

作業効率の改善を実証

現地

農業・協同組合省、農業試験場、農協、周辺酪農家を対象に現地での講習会を実施。

本邦

農業・協同組合省職員を本邦に受入し、関係機関における研修で知識・技術向上を図る。

3. 実施内容

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

ORION
冷熱と真空でイノベーション



1 パクチョン試験場

1

稼動:2018年7月

搾乳頭数:68頭

乳量:950kg/日

2 サケオ試験場

2

稼動:2019年1月

搾乳頭数:39頭

乳量:380kg/日

3 フォイフォンカイ試験場

3

稼動:2019年4月

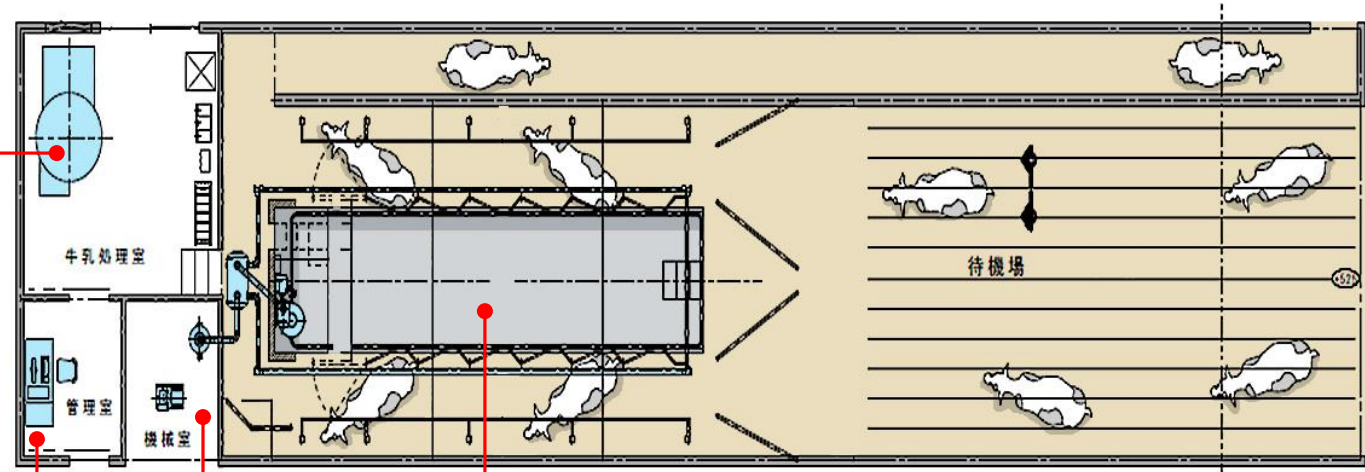
搾乳頭数:25頭

乳量:250kg/日

3. 実施内容

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

ORION
冷熱と真空でイノベーション



4. 実施活動・普及活動の実施内容(1)

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

ORION
冷熱と真空でイノベーション

モデル牧場での活動

実証 活動

1 細菌数・体細胞数を機材導入前後で比較し、乳質改善効果を実証する

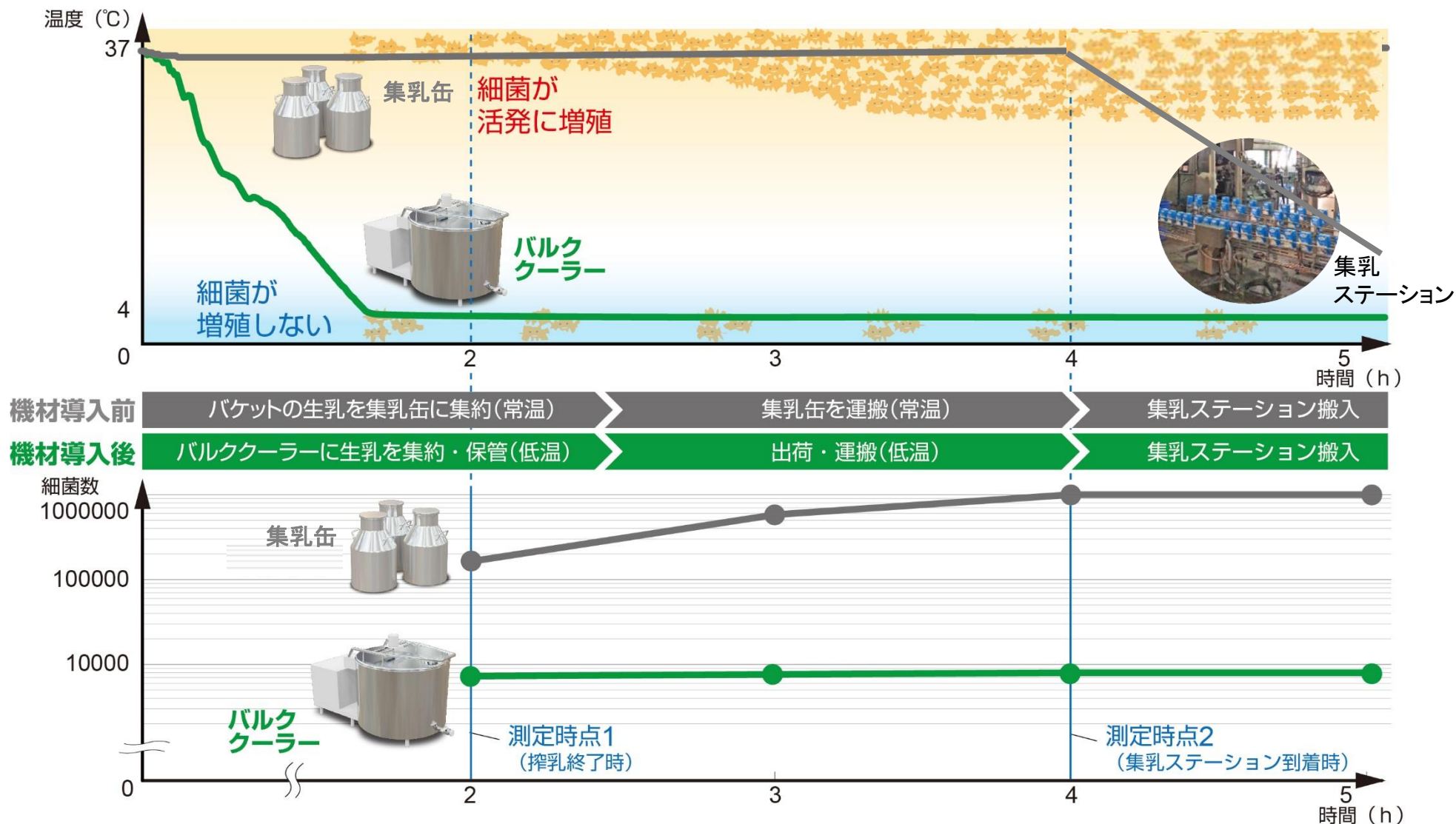
2 搾乳作業の自動化により、作業者の負担を軽減、効率が上がることを実証する



4. 実施活動

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

乳質改善 / 細菌数の変化

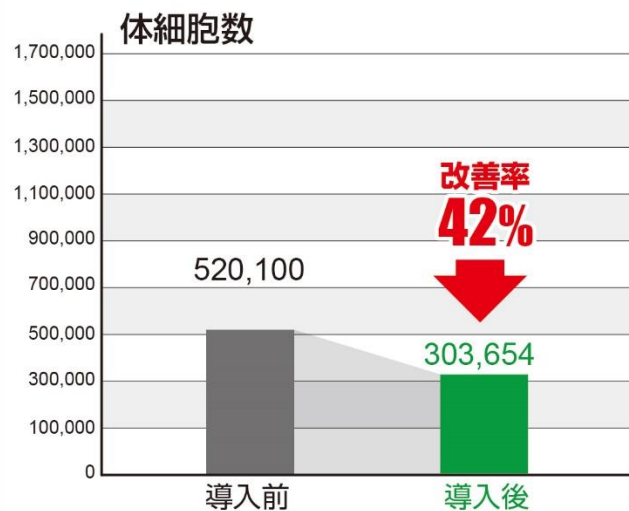
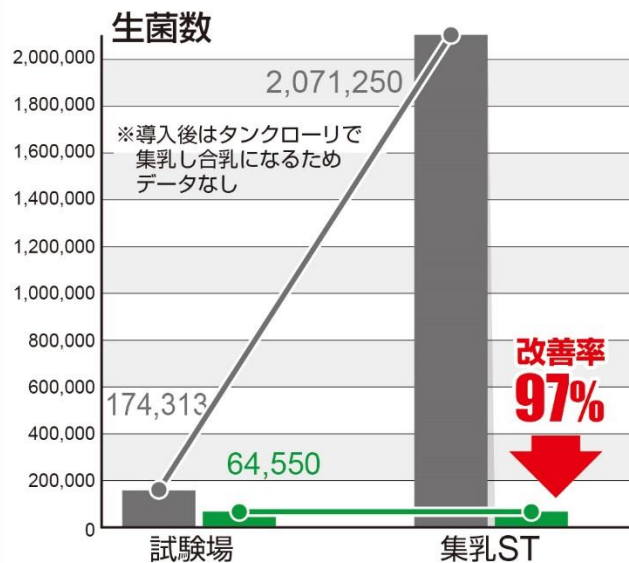


4. 実証活動

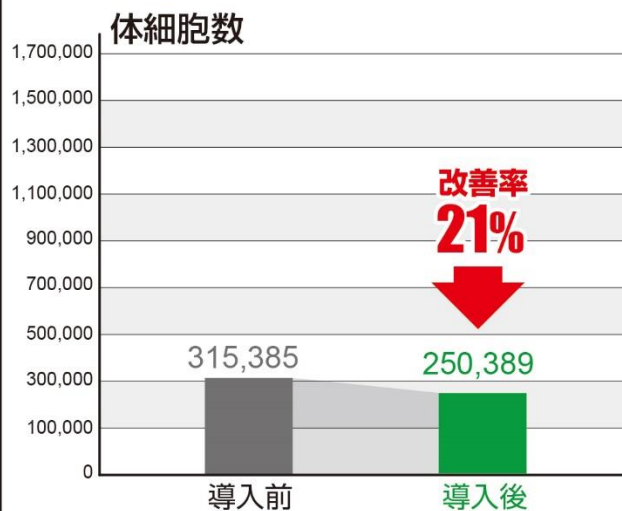
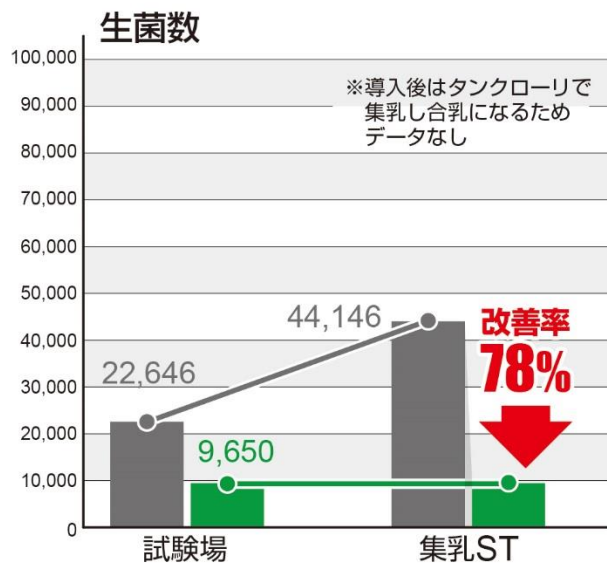
グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために



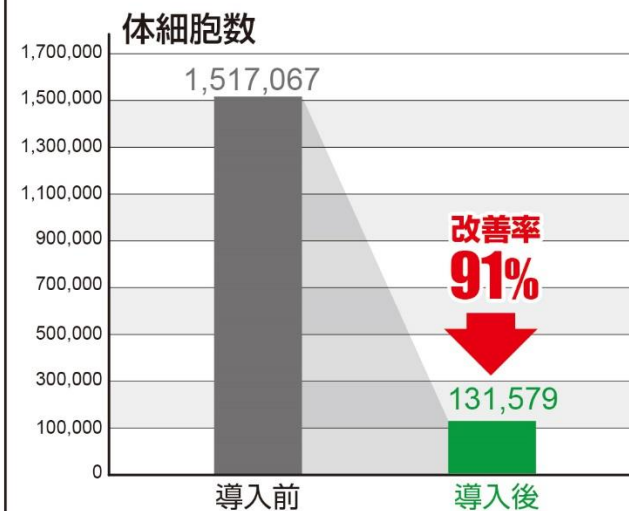
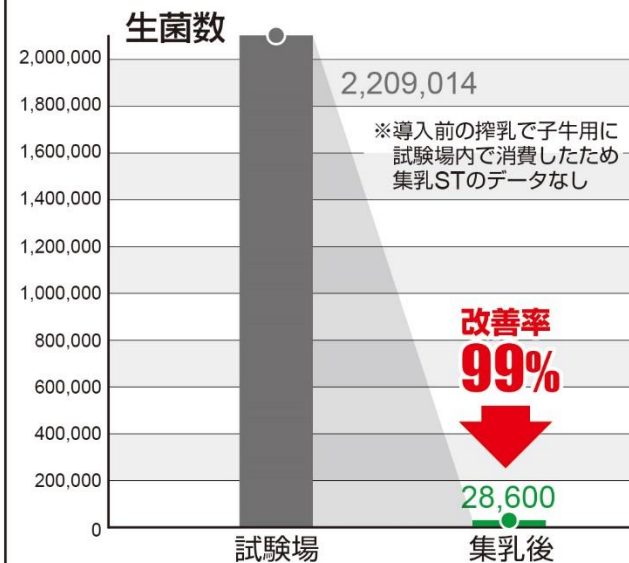
1. パクチョン試験場



2. サケオ試験場



3. フォイフォンカイ試験場



4. 実施活動

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

ORION
冷熱と真空でイノベーション

機材導入による作業の変化

機材導入前



バケットミルカーに
よる搾乳

トラックへ集乳缶
の積み込み



機材導入後



牛より一段低い場所で作業するため
作業の際、体の負担が少ない

4. 実施活動

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

ORION
冷熱と真空でイノベーション

機材導入による作業工程の効率化

機材導入前

手作業



機材導入後

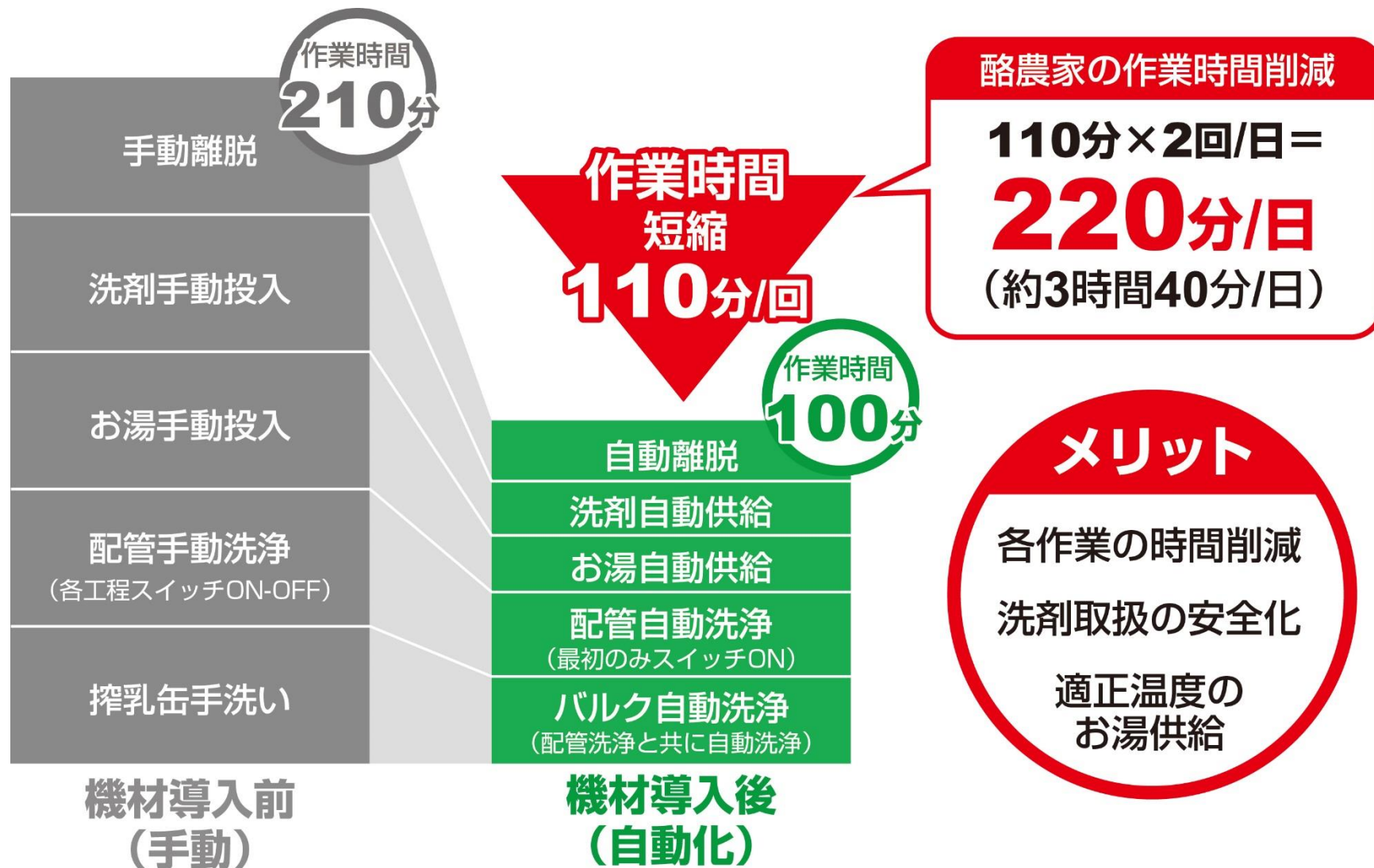
自動化



4. 実施活動

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

機材導入による作業工程の効率化



4. 実施活動・普及活動の実施内容(2)

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

ORION
冷熱と真空でイノベーション

現地

1

モデル牧場を会場として、農業・協同組合省、農業試験場、農協、周辺酪農家に対する講習会を実施。

2

衛生管理や安全な搾乳、飼養管理等を指導。



回数：年2回(1プログラム)/2年間/3ヶ所＝12回

参加者数：約600人

4. 実施活動・普及活動の実施内容(2)

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

ORION
冷熱と真空でイノベーション

日本 (本邦 受入活動)

農業・協同組合省職員を日本に受け入れ、日本の酪農業の現状、酪農技術を紹介し、参加者の知識・技術向上を図る。



回数:全4回(計20名)

訪問先:農林水産省本省、乳業メーカー、当社

5. JICA事業のメリットと今後の展開

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために



**1 “JICA”のネームバリューによる相手国政府との
スムーズな協議 及び 関係機関の協力体制**

2 政府との情報収集と課題抽出

3 後発開発途上国での事業化へのアプローチ

6. 産官学連携への期待

グループスローガン 2017-19
Challenge Vision10 (& 100th)
すべてはお客様のために

ORION
冷熱と真空でイノベーション

1 JICAスキーム活用による現地の酪農発展に寄与

2 気候・風土に適した乳牛の改良や飼養管理への学術的な知見及び過去の途上国での経験

